

Youth Manna

マルコ1:35

さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。

2024/2/12(月)

マタイ16:13-28

この当時イエス様について色々な噂がありバプテスマのヨハネやエリヤなど偉大な預言者だと言われていました。イエス様はそれに対して「あなたがたはわたしを誰だと言いますか？」と弟子たちに聞き、ペテロははっきりとイエス様こそ救い主であると告白しました。それは聖霊に導かれたことであり、その告白の上に教会が建つこと、その教会はとてもしっかりとあり役割があるとイエス様は言われました。教会の勝利の約束は教会のかしらであるイエス様が十字架の苦しみと復活のゆえに与えられたものです。

・あなたはイエス様が愛している教会としてどのように生き、何をしますか？

2024/2/13(火)

マタイ17:1-13

●イエス様の姿が変わった！どのように変わったと書いてある？

●光輝く雲が3人を覆い、雲の中から声がした。どんなことを語っていた？

●イエス様がどのような方なのかを思い巡らそう。神である方が、神のあり方を捨てて、私たちと同じ姿を取って下りてきてくださったのがイエス様だね。イエス様は苦しみを受けられることを前もって弟子たちに話したけれど(12)それは私たちを罪から救うためだった。君は今日イエス様の愛にどう応えて生きたい？

2024/2/14(水)

マタイ17:14-27

病に苦しむ子をと父、それを治せず当惑している弟子たちが登場する。イエスがその子を癒されると、弟子たちは自分たちが悪霊を追い出すことができなかった、癒すことができなかった理由をイエスに問いかけた。そしてその答えは「信仰が薄いから」であった。弟子たちは救い主であるイエスに信頼しきっていることができなかったのである。

そのような弟子たちにイエスはご自身の受難をあらためて告げる。それは、人の救いのためにはご自身の十字架しかないを確認したのである。

どんな困難の中にあっても、イエス様が救い主であると信頼しきれるように祈ろう！

2024/2/15(木)

マタイ18:1-14

1v. [そのとき、弟子たちがイエスのところに来て言った。「天の御国では、いったいだれが一番偉いのですか。」]

イエスに従う弟子たちすら、このような事を思うのか？と最初の頃は疑問だったが、当時の価値観や、このような弟子たちの聖書で見てきているからそう思うのかも知れないと今は思える。偉い偉くない、小さい大きい、など神様の前には関係ない。

信仰や奉仕にこの世的な価値観を置いてしまうことはないだろうか？

また7.8vであるように、「つまずき」になるようなものがあるなら、それが自分の手足だとしても切って捨てなさい、目ならえぐり出しなさいというほどに「つまずき」となるものは危険なのだ。

つまずきとなっているものはないだろうか？神様を選んで！と言える生活が出来ているだろうか？

向きを変えよう！！(3v)

2024/2/16(金)

マタイ18:15-35

●19-20vを読もう。イエス様は「あなたがたのうちの」何人で祈ったら、と言っているかな？

●また、どのように祈ったら、天父は聞いてくれると云っているかな？

●この箇所は1人で祈ることを否定しているわけじゃない。誰かとイエス様を中心に心一つにして祈るってすごく力があるってことなんだ。誰かと祈るって意外に難しい。特に家族とかはそうかもしれない。まずはユースの誰かと、ユースの時間以外で祈るのをやってみるのはどうかな？

2024/2/17(土)

マタイ19:1-15

パリサイ人たちがイエスさまを罾にはめようと、離婚についての問いかけをしてきた。それに対してイエス様は表面的なことだけではなく、本来神様が結婚をどのようにデザインされたのか土台の大切な部分から彼らに説明をしたんだ。「～していい」「～したらダメ」と私たちも生活の中で行動を考えて選ぶ時があるよね。「ルールだから」「人としてすべき」いろんな理由が思い浮かぶかもしれない。

そんな時、「神様は喜ばれるかな」「神様、あなたはなんと言っていますか」と祈り、基準を神様に当てていこう。イエス様は子どものように素直に聞く私たちを喜んでくださるよ！

2024/2/18(日)

マタイ19:16-30

「そうすれば、あなたは天に宝を持つことになりませう」

天に宝を持つとはどのようなことなのでしょう。青年はすべての戒めを行っており、「何がまだ欠けているでしょうか」とイエス様に問いかけます。この青年は戒めを守っている完璧な人がイエス様の弟子であり、天の御国に入れると思っていました。

しかし、イエス様はそうではなく、欠けがあったとしても、神様のみこころを知り、そのみこころを生きることが大切であることを教えたかったんだね。それこそが天に宝を持つ生き方です。

今日、また新たに神様のみこころを知り、みこころを生きることができるよう祈ろう！